

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 31 日

事業所名 地球館

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		定員内に収まっており、必要に応じて1階、2階に分かれている。	
	2 職員の配置数は適切であるか	○		適切に配置している。定期的に法令等に照合しチェックをしている。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○	福祉事業所としての要件は満たしている。手すり等を設置し対応している。	車いすの方の移乗の際など、改善すべき点は残っている。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		定期的な会議にて、スタッフ全員で検討し、改善を進めている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		アンケート結果と普段の支援内容を分析し、業務改善につなげている。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページにて公開している。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		他部門では、行った。外部による評価を行い、違う視点からの評価を知る必要がある。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		毎月1回行っている。研修内容を踏まえて、実際の支援にどう活かすかを考えている。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		支援プロセスに沿って作成している。客観性を持たせるため、複数のスタッフで意見を出し合い作成している。	
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		使用し、その情報をもとに個別の支援へとつなげている。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		複数のスタッフで話し合い立案している。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		固定せず、ほぼ毎日異なるプログラムになるよう考えている。	繰り返し取り組むほうが良い内容に関しては、固定化させることも検討する。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		過ぎしの時間に合わせて内容を考え、長期休暇は普段できないことにも取り組んでいる。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		個別活動と集団活動のどちらかに偏ることがないように、支援内容を考えている。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		その日出勤するスタッフ全員で一斉にできない場合は、連絡をとる等して確認している。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		スタッフによって退勤時間が異なることもあるため、記録を確認したり、連絡をすることで共有している。	振り返りや気づいた点を分析する時間を確保する。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		公の記録(業務日誌・保護者に渡す記録)の他個人ファイルに特記事項を残し、その記録をもとに支援の検討をしている。	

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定期的なモニタリングの実施により、一人一人の課題や今後の支援を再検討している。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○		福祉サービスであり、発達支援であることを意識して総合的なプログラムを実施している。	
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児発管をはじめ対象となる子どもとの関わりの多いスタッフが参加している。会議の前には他スタッフの意見も聞いている。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		必要に応じて担任の先生と連携している。1週間毎にファクスを送り確認して頂いている。	下校時刻などは保護者様がお知らせくださっているが、ご負担になっていることも考えられるので、可能な部分は学校と連携する。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		同一法人内で受け入れは行った。その際は、訪看事業所との連携により主治医との連携もとれていた。	令和6年3月に転居され現在は医ケアの必要な子どもいない。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		児童発達支援事業所との連携はできている。保護者の了解を得て、相談員を通して保育所への見学へ以前いったことがあった。保育所等の先生が作成された資料をいただき共有している。	今後もっと積極的に行っていけたらより良い支援ができる。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		個人情報保護の観点も考慮しながら支援に必要な情報は提供している。	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		必要に応じて連携をとり、支援に活かしている。	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		地域散策などを通して、様々な人と関わる機会を作っている。	
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○	同一法人内では事業所交流会へ参加している。内容においては、伝達している。	参加できていないので、情報を集め参加していく。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎の際に過ごしの様子をお話し、共有に努めている。必要な場合は電話でもお話をする。	
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		現在は行っていない。	
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に行っている。必要場合は、その都度もう一度説明している。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		事業所だけでなくグループ全体で支援を行っている。必要に応じて関係機関と連携もしている。	より相談しやすい環境づくりに努める。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		保護者様にとって負担にならないような形での連携機会を設ける。保護者からの必要とする意見が少ない。

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		迅速に情報共有を行い、適切に説明をして対応するようにしている。また、記録も残し、改善に努めている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	お便りを発行し、活動の様子を発信している。	頻度が少なく、不定期になっている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		スタッフには研修にて教育を行い、情報発信の際は保護者様に説明、確認をとっている。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		視覚支援を活用するなど、一人一人に合わせて適切な方法を検討し、用いている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		収穫祭を企画し地域の方々にも来所いただける機会を設けている。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	委員会を設置して計画、マニュアルを作成し、スタッフに共有している。	スタッフには周知徹底している。保護者様全員に周知できているかの確認は取れていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		定期的に訓練を行っている。防災グッズの準備も行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止委員会の定期的な会議に加え、スタッフ全員に対して研修を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		身体拘束適正化検討委員会を設置している。契約時や支援計画書作成時に保護者様へ説明し、記載している。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		支援計画書に記載し、保護者様を通して医療機関の指導のもと対応している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		記録を残し、共有している。会議などで検討し、改善に努めている。	